

じ いん だ い え ん じ 寺院大圓寺

◇指定日 平成元年12月12日

◇所在地 小国

◇所有者 大圓寺

大圓寺は、奥州市水沢おうしゅうしみずさわの正法寺二世を務めた月泉良印げっせんりょういんが、応永元年(1394年)に開創しました。小国村に入部した武田氏が、館の鎮守として、加茂神社かもを城内に勧請する一方、大圓寺を再興して城下を整えたといわれています。

寛文5年(1665年)に小国村島田領地頭おぐにむらしまだりょうじとうとなった島田弥平善重しまだやへいよししげの庇護おぐにを受け、小国村、江繫村、泉沢村のほか金澤村の一部も檀家に納め、寺勢大いに振るったといえます。

寛政6年(1794年)4月1日、火災によって全伽藍ぜんがらんを焼失し、現在の本堂は、文化2年(1805年)7月に再興されたものです。間口8間、奥行7間、寄棟造りよせむねづく、縋破風向拝すがるはふうはい、檜けやきを主材に、折衷様せっちゅうよう禅宗寺院ぜんしゅうじいんの手法を駆使した重厚な建築です。

